



中国西部地区林業人材育成プロジェクト
中国集体林権制度改革セミナー

2011年10月21日 中国・西安
＜発表原稿6＞



強みを生かし 政策を整備 林下経済発展の路を積極的に探る

広西壮族自治区林業庁

広西は我が国の南方重点集体林区で、もともと「八山一水一分田（訳注：八割が山、一割が河川湖沼、その他一割だけ耕地）」と呼ばれる。広西全体の林地面積は2.34億ムー（訳注：1ムーは約1/15ha）で全国6位であり、うち集体林区面積は2.1億ムーで全国3位と、全国でも林業が発展し、集体林権制度改革の重点省である。2009年に集体林権制度改革が全面的にスタートしてから、我々は真剣に中央による集体林権制度改革発展の決定事項を徹底し、国家林業局による念入りな指導の下、広西地域の林業の実情に鑑み、エコ文明モデル区設立と、「豊かな住民、強い桂林（訳注：広西の旧名は「桂」であり桂の国の林という意味）」という新段階の目標を掲げ、集体林権制度改革宣言、造林・緑化、林業産業と林下経済「三部曲」の発展の総合的な考え方を確立し、林下経済発展を集体林権制度改革後に林業の生産力刺激と林業強化区域の重要な突破口として指導強化し、政策指導を維持して「1千万の林業農家が1,000元の増収」というプロジェクト（二つの千プロジェクト）を重要な土台と強力な足がかりとし、成長モデルの刷新を続け、林下経済の発展を強力に後押しし、「伐採をしなくとも豊かに」という林業発展の新たな道を切り開き、「資源の増加、農民の増収、生態の改善、林区の調和」という集体林権制度改革の目標をおおむね実現した。3年の努力を経て、集体林権制度改革の主要改革を全面的に達成した。3年近く、毎年平均350万ムーを超える造林を行い、森林被覆率は年平均約1ポイント増加した。2010年には、地区全体の森林被覆率は58%に達し、林産業の総生産額は1,276億5,000万元に達した。うち林下経済の生産額は135億8,000万元、利益を受けた林業従事者は312万8,900人、1人あたりの収入は1,000元を超えた。今年前半の3四半期（1～9月）で、地区全体の林下経済生産高は145億元に達し、

通年で200億元を超える見込みである。

一、思想の認識を深め、「五級（訳注：省、市、県、郷鎮、村の5つのレベル）書記」による林下経済を堅持

集体林権制度改革の全面的なスタートに伴い、農民の造林・育林と林へのいたわり・保護への積極性はこれまでにない高まりを見せている。本地区の豊かな森林資源、優れた自然条件を十分に生かして、林下経済を力強く発展させ、農民の増収と蓄財を促し、都市と農村の統一的成長を実現することが、我々が直面している重大で差し迫った課題となっている。今年4月29日、呉邦国委員長は広西の視察の際に「集体林権制度改革後、現地の事情に合わせ、林下経済などの特徴ある林業を農村経済の新たな成長ポイントとして育成する必要がある」と指摘した。今年10月の9～10日、全国林下経済の現場会議が広西で開かれ、陳昌智副委員長、賈治邦局長が林下経済の成長に新たな要求を提言した。中央指導部と国家林業局指導部による、林下経済の重要な指示と精神を真剣に検討し、自治区の党委員会、政府が非常に重視し、かつハイレベルで推進し、資源そのものの持つ資質の全面的な分析、過去の経験のまとめ、発展趨勢の科学的な把握のもと、常に林下経済発展の知識を深めてきた。

林下経済発展は広西地区の情況に順応。 広西は農業大省で、発展が遅れ、発達していない地域であり、工業化と都市化のレベルは低く、3,000万近くは農民で、1人あたりの耕地面積は小さく、耕地を利用して農民の大幅増収を促進することは難しくなる一方である。2010年、地区全体の農民1人あたりの純収入は4,500元余りと、全国の農民の1人あたりのレベルを大きく下回った。広西が「豊かな住民、強い桂林」という目標を実現する際の最大の難関は農村にあり、鍵は農民の増収にある。林下経済の大きな成長は本地区の農民の増収という難題を解決するための最良の選択である。推算によれば、「第12次五カ年計画」期末に広西の農民1人あたり純収入が全国農民の1人あたりのレベルに到達するためには、3,700元余りの増加が必要で、林下経済の農民増収に対する貢献率は40～50%となる。

林下経済発展は広西の森林情況に順応。 広西の林地面積は大きく、林木の生長は速い。本地区の林下経済発展における資源の強みと条件を十分に生かして、林下経済の発展を加速し、植樹造林、生態保護への投資を持続するためにも農民の就職と増収を促進して、農民が伐採しなくとも豊かになり、資源の強みを産業の強みと経済の強みに転換し、林業に強い地区作りの歩みを加速して、さらに都市と農村を統一的に発展させ、「エコロジ

一な山紫水明」という環境の強みを保つ。

林下経済発展は広西林業の持続可能な発展に有利。 林業は弱い産業に属し、林業生産前期の投資が大きく、生産周期は長い。林下経済の発展を加速すれば、農民は短期的には利益が得られ、長期的には林を得ることができ、短期で長期を育成するという短期と長期の結びつきを実現し、林業の生産周期の長さと言農民投資の有限性という難題を解決し、地区全体における林業の持続可能な発展を促進する。

このような認識の上で、自治区党委員会、政府は「五級書記」が集体林権制度改革を行うという基礎の上で、引き続き「五級書記」が林下経済の要となることを堅持していく。自治区は党委員会、政府の関連部門の指導者をグループリーダーとし、党委員会、政府の関連部門の副秘書長と林業庁庁長をサブグループリーダーとし、22の地区に直接関わる部門責任者をメンバーとする林下経済発展指導グループを成立させた。自治区は主に複数にわたる調査研究と林下経済の発展業務を指導する。自治区党委員会、政府は去年、今年と相次いで2回にわたり地区全体の林下経済推進現場会を企画・開催した。自治区林業庁党组も複数にわたりテーマ会議研究を開き林下経済活動を準備した。各市、県、郷鎮も党政府が主導でグループリーダーを担当する林下経済発展指導グループを設立させ、指導グループ会議、現場事務、検査の催促と言った形式をとって適宜業務における難題や問題を研究・解決し、強力に協力して推進するといった流れを作った。

二、政策指導を堅持し、支援・保障システム構築に努める

実践の中で、我々は、林下経済を地区全体の経済社会の発展を推進する大産業に育て、統一された企画、科学的な計画、合理的な配置をして、林下経済の発展を効果的に支える政策保障システム構築に努めなければならないことを深く実感した。

我々は広西の実情に鑑み、「配置の区域化、分業の専門化、生産の規模化」という要求に基づき、「森林を中心として保護第一とし、集約経営、大規模成長を果たし、現地に合わせて特徴を際立たせる」という原則を堅持し、『広西林下経済発展「第12次五カ年」計画』を編集した。特色産業と支柱産業の配置の区域化、生産の規模化を推進し、広西西南の特色ある栽培・養殖地区、広西東北の森林観光サービス地区、広西東南の外に開いた林下経済産業帯の「両区域一帯」の林下経済産業発展の枠組み作りを推進した。2015年までに、地区全体の林下経済を5,000万ムー、年間生産額を500億元以上、年成長率を30%以上にするよう努力する。

2010年10月、自治区は『林下経済発展の推進に関する意見』を公布した。今年、自

治区政府は自治区林業庁、財政庁の『林下経済発展優遇政策のさらなる整備と加速に関する若干の意見』を配布し、リーディング・カンパニー、加工流通、サービス体系作りなどの主要な段階で、力強く、操作性が高く、カバー面が広い一連の林下経済発展政策を制定した。**財政政策面では**、自治区財政は林下経済発展占用補助資金を設置し、各地の財政に毎年投入を強化するよう明確にした。**金融政策面では**、林権抵当貸付を推進し、林下経済担保システム作りを強化し、政策的保険システムのカバー面を拡大した。**土地政策面では**、自治区重点リーディング・カンパニーが必要とする非農業建設用地を現地土地利用全体計画に組み込み重点的な保障を与えた。道路、小屋など林下経済発展に直接貢献するインフラ用地は、直接緑化生産サービスのプロジェクト施設用地範囲に組み込んで審査した。**科学技術サポート面では**、農業科学技術普及とモデルプロジェクト資金を準備し、科学技術の成果を進歩に転換し、林下経済製品の生産前、生産中、生産後の技術サービスシステム作りを支持した。

三、発展理念を刷新し、立体的な経営新モデルを探る

我々は積極的に発展理念の革新を行い、立体的経営を徐々に進め、リーディング・カンパニーやモデル企業、ブランドによる先駆けを行って、林下経済の組織と発展モデルの刷新を推進し、林下経済の産業化、集約化レベル向上に努めた。

発展モデルを探り、立体的経営を推進。林地、林木と木陰などの資源で立体的な林業・循環林業を発展させ、多様な林地複合経営モデルを積極的に指導・模索した。たとえば林地資源を利用した林下栽培、牛・羊用の牧草栽培などを発展させた。また林木資源を利用して藤やススキの細工、松ヤニ採集など林下経済製品の採集・加工を発展させた。また木陰を利用して養蜂、鳥の飼育などを行った。さらに森林景観を生かして森林ツアーと農家楽（訳注：農村、農業体験ができる観光事業）を発展させた。努力により、地区全体で林下栽培、林下養殖、林下製品加工、林下観光などの4大タイプ、および林下の薬、キノコ、花、草、野禽、蜂、藤・ススキ細工、林下レジャーなど8種のモデルをおおむね形成した。我々は更にモデル育成に注意し、林下経済産業モデル地区作りをしっかりと行い、一群の林下栽培・養殖・製品採集加工、森林ツアーなどのモデル基地を作り、林下経済を点から面へ急速に広げた。一部地域はすでに広西・周辺地区に影響がある林下経済産業大県となっている。たとえば玉林市容県は5つの林地養殖モデル地区と9つの林地養殖規模モデル鎮を建設し、2010年の同県の林下養鶏では2,500万羽以上を出荷、生産額は7億5,000万元以上となり、商品は広西各地と広州・香港・マカオ地

区で販売されている。合浦県では貴重な樹木の下が金花茶栽培に適しているという特長を生かし、インド紫檀、降香黄檀などの樹木の下で金花茶を栽培し、世界最大の林下栽培クローン金花茶基地を形成している。

組織方法を刷新、リーディング・カンパニーの先駆けを強化。企業や資本の誘致、政策の支持、科学技術サービス、経済合作組織や専門協会設立など多様な方法を採用し、一群のリーディング・カンパニーを育成して企業＋基地＋農家、專業合作社＋農家、国有林地＋農家、企業＋合作組織＋農家＋金融機関＋保険、専門協会＋農家、世帯の共同または組の共同、単独経営など多様な集約経営モデルを形成し、林下経済の組織化レベルと市場リスク対応力を更に強化した。2010年、本地区の林下経済の実動団体は14万1,000に達した。うち栽培・養殖専門大手は50、專業合作社は1,507、リーディング・カンパニーは150、関連企業は1,585となっている。

ブランドを作り、競争力強化。特色を際立たせ、優れた製品・ブランドを作るという考えに基づき、広州・香港・マカオ、長江デルタなどの市場に照準を合わせて伝統ブランド製品を発掘して高め、グリーン・有機製品と製品精密加工など工夫を凝らし、規模、品質面で強みを持つ製品を更に大きく、強く、優れたものにするよう努めた。現在、陸川ブタ、環江ブタなど有名な地元伝統目玉商品の規模が更に大きく、ブランド名も有名になり、優良な三黄鶏、忻城の金銀花、金秀のアマチャヅル、大瑤山のテンチャ、永福のラカンカ、田林のタケノコ、馬山の黒山羊、南丹瑤のニワトリ、容県の霞煙鶏など一群の地域的な名品ブランドも急速に成長し、林下経済製品の市場競争力を大きく高めた。

四、「二つの千プロジェクト」を実施し、農民の増収を高速実現

地区全体で林下経済に適する林地面積は 9,000 万ムー近くに及び、林地総面積の約 38.5%を占め、耕地面積の 1.5 倍にあたる。この林地資源を十分に生かして農民の収入を大幅に増やし、「三農」（訳注：農業の低生産性、農村の荒廃、農民の貧困）という難題を解決するための確実な基礎を築くことが、我々の林下経済発展の基本的な出発点であり、根本的なポイントである。そのため、我々は林下経済発展を農家「1 万元増収プロジェクト」実施の重要な一部とし、林下経済発展「二つの千プロジェクト」を計画実行する。2011 年から 5 年ほどの期間で、1 人あたりの純収入が 1,000 元以上増収の農民を累計 2,000 万人とすることを目指し、広西「第 12 次五カ年計画」期間終了時には農民の 1 人あたり平均純収入を全国平均レベルにする。計画的指導、モデル・典型設立、リーディング・カンパニーの強化、強力組織作り強化、種や苗供給の保証努力、財政投資

強化、金融・科学技術サービス強化などの措置を通じ、地区全体の林下経済は急成長し、今年1～3 四半期の生産額は同期比48.5%だった。

五、政府サービスを強化、環境発展を常に最適化

林下経済はシステムプロジェクトで、政府各局の密接な協力、サービス強化、協力体制が必要である。林業担当機関が主な牽引作用を果たす以外に、各レベルの発展改革担当機関と林業支援機関が林下経済発展計画を積極的に指導する。財政担当機関は財政資金投入を強化し、2011年地区全体の各レベルによる林下経済発展支援資金は3億5,000万元だった。うち自治区レベルの財政から林下経済発展支持資金は1億5,000万元だった。各市・県、特に一部の林業に強い市・県も資金投入を強化した。農業、水産、牧畜担当機関は林地栽培・養殖業のブランド育成、技術指導と支援を強化する。貧困支援、金融担当機関は林下経済プロジェクトに力を入れて支援する。各宣伝・マスコミ機関は様々な宣伝方法を通じて、林下経済発展の成功例とモデル例を大きく宣伝する。各機関、各地が協力して地区全体の林下経済発展の環境を最適化し、林下経済の発展の歩みを加速化した。

本地区の林下経済は一定の成績を収めたとはいえ、国家林業局の要求や、地区自身の発展潜在力、また先進的姉妹省（区、市）の成長の勢いと比較すると、まだ大きな開きがある。我々は今回のセミナーを契機に、国家林業局の林下経済発展決定措置を真剣に徹底し、無私の心で姉妹省（区、市）の進んだ経験と成功の方法を学び、更に考えをクリアにして政策を整備する。規模拡大、構造の最適化、品質向上、リーディング・カンパニー育成を進めて、林下経済発展を新たな段階に押し上げ、全国林下経済発展の先駆けを目指し、近代化林業の成長、エコ文明の建設、林地と農民の反映実現のために新しい、さらなる貢献をする。

以上